

ボランティアグループ 羽生おもちゃの病院

代表者 梅原 輝雄

活動の様子



活動実績

活動内容	<p>【壊れたおもちゃの修理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例開院 全 12回 (月1回 市民プラザ) ・出張開院 全 2回 (市内保育園) ・イベント開院 全 7回 (キャッセ、市民プラザ、公民館等) ・体験教室 全 5回 (公民館、小学校等) ・その他参加 全 8回 ・打ち合わせ 全 10回
活動の成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期開院12回、出張開院2回、イベント開院7回、体験教室5回、その他(行政事業への参加)8回、打ち合わせ10回、計45回の活動を実施し、修理を通して多くの人々と触れ合うことができた。 2. 総診療受付件数は223件で、昨年度より増加した。 3. 本年度新しく取り入れた鉄道模型運転体験企画は、出張開院やイベント開院の活動内容を盛り上げ、子どもたちに大好評であった。 4. 埼玉県主催によるさいたまいきいきフェスティバルに、羽生・久喜・幸手・東松山おもちゃ病院の協同事業として参加し、近隣団体との連携や活動の幅が広がった。 5. 社協主催によるおもちゃドクター養成講座を開催し、受講者18人中7人がおもちゃドクターとして入会した。
自己評価	<p>受付目標件数300件が未達成であり、地域での認知度向上に今以上努めていきたい。</p> <p>電気工作体験教室もようやく軌道にのり、回数・内容ともに充実し、多くの子どもたちに工作の楽しみを知ってもらっていると自負している。</p> <p>会の組織面の充実、会員の技術面の向上、地域での認知度も高まり、会員全員が生きがいを感じて地域貢献活動のできる環境が整ってきたと考える。</p>
次年度の目標や抱負	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療受付累積件数 1,000件以上 2. 電子工作体験教室年間開催回数 5回以上 3. 電子関係に強いドクターの養成 4. 本格的に導入した鉄道模型運転体験企画の充実、強化 5. 近隣のおもちゃの病院とのさらなる連携の強化